

スマホやSNSとの関わり方を学ぶ研修会を開いてみませんか？

(「地域における情報モラル向上支援事業補助金」のご案内)



スマートフォンをはじめとするインターネット接続機器は、現代の子どもや若者にとって不可欠なツールとなっている一方で、性犯罪やトラブルに巻き込まれる可能性があり、また、長時間使用による依存症など健康への影響も懸念されています。

長野県将来世代応援県民会議では、県民が開催するインターネットの適正利用について学ぶ研修会を支援することで、地域における情報モラルの向上を推進します。

【補助金の交付対象者】

PTAや育成会など、おおむね10人以上の地域住民で構成されたグループや団体

【研修会の内容】

インターネットの適正利用について学ぶ勉強会や研修会

ただし、通常の学校教育の一環（例：生徒や教職員のみが参加する）として行われるものは対象になりません。

【補助金の対象経費】

講師への謝金及び旅費

【補助金額】

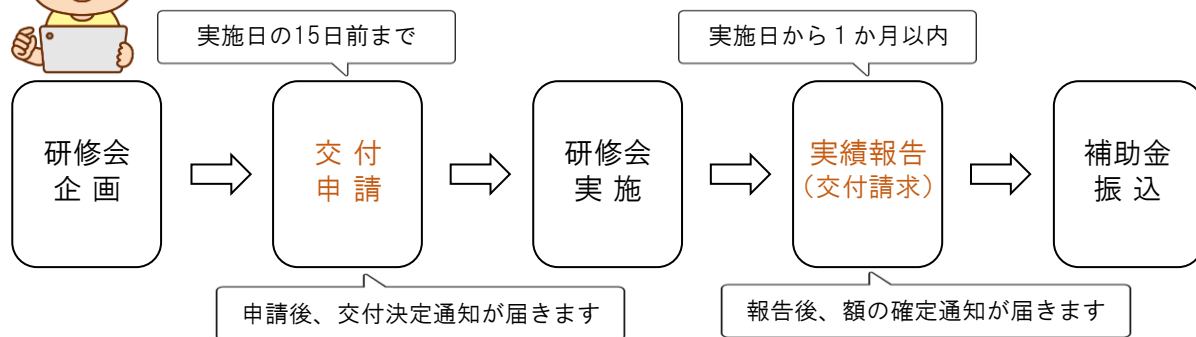
上限は1回あたり20,000円（1,000円未満の端数切り捨て）

【申請回数】

同一団体からの申請は、各回で参加者が異なれば年度内2回まで可能です。



【補助金の申請から振込までの流れ】



【長野県将来世代応援県民会議】

(お問い合わせや申請書類の提出はこちらへ)

〒380-8570
【住所】長野市大字南長野字幅下692-2
長野県県民文化部 こども若者局次世代サポート課内
【TEL (FAX兼用)】026-235-8996
【メールアドレス】youth@axel.ocn.ne.jp
【ホームページ】<http://himawari-nagano.net/>



申請書類ダウンロード
<http://himawari-nagano.net/hojokin2.html>

地域における情報モラル向上支援事業 講師依頼先(例)

(このチラシに掲載されていない講師へ依頼した場合でも補助金交付の対象です。)

団体名・氏名	住所・連絡先等	講演内容
子どもとメディア信州 代表 松島 恒志 	佐久市 電話 090-4224-7571(事務局直通) メール komesin7@gmail.com	<ul style="list-style-type: none"> ○メディアに頼らない子育て(乳幼児、園の保護者、学校低学年) ○メディアとの上手なつきあい方(小・中・高校の児童生徒、保護者) ○子どもとメディアの問題に地域がどう取り組むか ○人権教育(ネットいじめ、コミュニケーションのあり方等) ※メディアとは電子メディアを指す ○講演会実施の学校の状況(学年ごとの考察も可能)に応じた注意喚起(県内全小中学校が回答している実態アンケート結果をもとにします)
子どもとメディア信州 副代表 (長野松代総合病院 小児科部長) (清泉女学院大学看護学部 非常勤講師) (イラストレーター) 池野 一秀 	長野市松代町松代183 長野松代総合病院 電話 026-278-2031 090-4224-7571(事務局直通)	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタルメディアと子どものころ ○親と子の心のつながり ○IT時代と子どものころ ○講演会実施の学校の状況(学年ごとの考察も可能)に応じた注意喚起(県内全小中学校が回答している実態アンケート結果をもとにします)
子どもとメディア信州 副代表 小川 文徳 	松本市 電話 090-4224-7571(事務局直通) メール bun325i@yahoo.co.jp	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども達をネット被害から守るために、今できること、今すべきこと(小学生・中学生・高校生およびその保護者対象) ○子ども達のネットトラブルの実例とその対処法(子ども、大人向け) ○情報化社会を歩くために…ネット社会の表と裏(全年齢向け) ○講演会実施の学校の状況(学年ごとの考察も可能)に応じた注意喚起(県内全小中学校が回答している実態アンケート結果をもとにします)
子どもとメディア信州 運営委員 (上田市立第五中学校校長) 畠山 正幸 	上田市 電話 0268-22-3076 090-4224-7571(事務局直通)	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども達のメディアとのかかわりの実態と上手な付き合い方(小学生、保護者) ○講演会実施の学校の状況(学年ごとの考察も可能)に応じた注意喚起(県内全小中学校が回答している実態アンケート結果をもとにします)
子どもとメディア信州 運営委員 矢澤 智都枝 	東御市 電話 090-4224-7571(事務局直通) メール safety.net.nagano@gmail.com	<ul style="list-style-type: none"> ○ネット利用のトラブルや心身への影響を知り安全な使い方を考えよう ○セルフコントロールの力を育てるために家庭・地域・学校でできる事 ○講演会実施の学校の状況(学年ごとの考察も可能)に応じた注意喚起(県内全小中学校が回答している実態アンケート結果をもとにします) 対象: 小中高生・特別支援学校生、親子、PTA、教職員、地域 実績: 情報モラル・学校保健委員会・人権教育・教職員研修・育成者研修、地域懇談会
子どもとメディア信州 運営委員 (子どもとメディア信州事務局長) 伴 美佐子 	上田市 電話 090-4224-7571(事務局直通) メール misakoban157529@gmail.com	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもたちがネット等にふれる時、気をつけたいこと ○家庭・地域と一緒に考える子どもたちへの関わり方 ○講演会実施の学校の状況(学年ごとの考察も可能)に応じた注意喚起(県内全小中学校が回答している実態アンケート結果をもとにします) 対象: 小中学生とその保護者、地域の皆さん
子どもとメディア信州 運営委員 (塩尻市教育委員会教育総務課指導主事) 島津 和浩 	塩尻市 電話 090-4224-7571(事務局直通) メール kyoikuc@shiojiri-ngn.ed.jp	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども達のメディアとのかかわりの実態と上手な付き合い方(小学生、保護者) ○講演会実施の学校の状況(学年ごとの考察も可能)に応じた注意喚起(県内全小中学校が回答している実態アンケート結果をもとにします)

地域における情報モラル向上支援事業 講師依頼先(例)

(このチラシに掲載されていない講師へ依頼した場合でも補助金交付の対象です。)

団体名・氏名	住所・連絡先等	講演内容
<p>子どもとメディア信州 運営委員 (長野県教育委員会保健厚生課指導主事)</p> <p>藤村 ゆかり</p> 	<p>塩尻市</p> <p>電話 090-4224-7571(事務局直通)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ネットとの上手な付き合い方 ○スマホやゲーム機を使う時に気を付けたいこと ○子ども達の自律を目指して私たち大人ができること ○講演会実施の学校の状況(学年ごとの考察も可能)に応じた注意喚起(県内全小中学校が回答している実態アンケート結果をもとにします)
<p>子どもとメディア信州 運営委員 (安曇野市教育委員会学校教育課指導主事)</p> <p>矢野 司</p> 	<p>安曇野市</p> <p>電話 090-4224-7571(事務局直通)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども達のメディアとのかかわりの実態と上手な付き合い方(小学生、保護者) ○講演会実施の学校の状況(学年ごとの考察も可能)に応じた注意喚起(県内全小中学校が回答している実態アンケート結果をもとにします)
<p>子どもとメディア信州 運営委員 (ヨガインストラクター) (長野市放課後アドバイザー) (キッズヨガ)</p> <p>野池 言恵</p> 	<p>千曲市</p> <p>電話 090-4224-7571(事務局直通)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○電子メディアと子ども達の身体 ○子どもと一緒に身体遊び (対象:保育園・幼稚園・小学生 保護者) ○講演会実施の学校の状況(学年ごとの考察も可能)に応じた注意喚起(県内全小中学校が回答している実態アンケート結果をもとにします)
<p>子どもとメディア信州 運営委員</p> <p>吉崎 浩一</p> 	<p>松本市</p> <p>電話 090-4224-7571(事務局直通)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○電子メディアとの上手な付き合い方 ○講演会実施の学校の状況(学年ごとの考察も可能)に応じた注意喚起(県内全小中学校が回答している実態アンケート結果をもとにします)
<p>セーフティネット総合研究所 代表理事 (博士(学術)) (感性情報学者) (元長野県警サイバー犯罪対策 アドバイザー1期～5期 5期務める) (現在も公的委員を複数務める) (複数の市町村でアドバイザー) (各種協議会委員、審議会委員、 有識者委員、専門家委員 など)</p> <p>南澤 信之</p> 	<p>長野市</p> <p>電話 026-223-5059 F A X 026-226-2740 メール info@nisr.jp minamisawa@nisr.jp H P https://nisr.jp/</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ネットここが心配 ～SNSの危険性と留意点～ ○今子どもたちを守るために身近な大人は何ができるのか ○子どもたちのネット利用の現状と課題 ○インターネットにおける人権 ○インターネットとコミュニケーション ○子どもたちの健康への影響 ○SNSとは何か～SNSの特徴と留意点～ ○ネット依存の特徴と克服に向けて ○ゲーム障害と影響 ○障がいを抱える人のネット利用の留意点 ○ショートムービー時代の留意点 ○有害サイトから子どもを守るフィルタリングと本体の機能制限 ○ネット時代のルール～契約意識を持とう！～ ○インターネットの功罪 ○「聴く力」と「置換的思考力」 ○「ネットと脳」「ネットと思考」 ○「消費者としてのネット時代」 ○ネット時代を支える人権教育 ○デジタルシティズンシップ教育 など